

平成25年度活動方針

- (1) 地域の生活基盤・産業基盤の充実に取り組みます。
主要地方道綾部・宮島線脇谷バイパス開通に向けて、大野地区の住民の声が反映できるよう積極的に要望活動を行います。
鏡坂峠開通に向けて、日吉町の人々と連携して、早期実現に向け京都府への要望活動を継続して行います。
京都府の〔共に育む命の里事業〕などを積極的に活用し、各集落と連携して生活基盤・産業基盤の充実や、地域の情報発信や・地域内の連携の強化を図れるシステム作りに取り組みます。
- (2) 安心・安全な生活環境づくりに取り組みます。
虹の湖ネットワークと連携して、高齢者（特に一人住まいのお年寄り）の見守りと、学童の通学の安全に取り組みます。
南丹市の防災訓練に積極的に参加し、住民の防災意識の向上を図るとともに、地域の防災体制の課題を把握します。10月6日南丹市総合防災訓練に参加します。
- (3) 安全・安心な農産物加工食品を生産・販売するためのシステム作りを行います。
加工食品の表示内容を現実に即した内容に改め、生産者が責任と誇りをもって販売できるシステム作りを、加工グループ・販売者（大野屋さんなど）の皆さんと相談しながら行います。
- (4) 大野地区への定住化を促進し、地域の活性化に繋がります。
美山町まちづくり委員会や美山ふるさと株式会社と連携し、Iターン、Jターンによる定住を促進します。
- (5) 住民のみなさんが健康で、こころ豊かに暮らせる事業を行います。
大野地区体育大会やスポーツ大会を開催し健康・体力づくりのお手伝いします。
人権意識の向上、こころ豊かな生活が送れるための講習会・研修会を開催します。
- (6) 大野ダム公園・美山かやぶき由良里街道を中心とした観光事業を推進します。
春のさくら祭り、秋のもみじ祭りの二大イベントを開催します。
大野ダム公園のインフラの整備：水道水の供給問題に取り組みます。
重要な観光資源であるダム湖周辺の桜の樹の管理体制と再生計画を策定します。
- (7) 先人が守り育ててきた伝統文化、自然環境を維持・継承し住民が誇りをもって暮らせる地域づくりを目指します。
伝統文化や地域活性化の取り組み活動を支援します。

企画総務部事業計画

- 1 主要地方道綾部宮島線脇谷バイパス、鏡坂峠開通について実現出来るよう引き続き要望活動を展開
- 2 地域振興の拠点となる大野ダム公園でのさまざまな取り組みを進め、地域の活性化に取組みます。
- 3 南丹市「市民提案型まちづくり活動支援交付金」京都府「命の里事業」等の活用を推進し、元気な町づくりに取組みます。
- 4 地域住民の意向調査結果を精査し、活動に活かします。
- 5 役員選出規定等の策定及び組織編成に取組む。
- 6 南丹市の防災訓練に積極的に参加し防災意識の向上につとめます。
- 7 広報「おおの通信」の定期的発行

産業部事業計画

- 1 農地保全対策を推進します
農地保全事業推農地保全進のため集落と話し合いの実施
先進地視察研修の実施
- 2 環境保全対策を推進します。
地区内環境パトロール 不法投棄ゴミの回収
美山クリーンリバー作戦への参加
- 3 農林産物の生産に関する技術研修を実施します。
各集落農事組合と青空教室の実施
大野地域特産品と販売の推進
地球温暖化防止活動の一環としてグリーンカーテンの普及の推進
- 4 伝統文化を継承します。
しめ縄講習会の実施

生涯学習部事業計画

- 1 健康の保持を目的に日常生活を快適に送る事
社会体育事業の実施
体育大会（小学校と合同実施）冬季スポーツ大会・剣道大会・その他（野球・ソフトボールなど）
健康づくり事業の実施
体育振興協議会との共催事業の実施
集落公民館・各種団体との連携による事業の実施
- 2 趣味・教養を高める取り組みの実施
各種展示会の開催 各種講演会の開催

文化観光部事業計画

- 1 さくら祭り・もみじ祭りの開催
第25回もみじ祭り（平成25年11月）
第29回さくら祭り（平成26年4月）
- 2 大野地域の観光資源の維持整備
大野ダム公園、虹の湖周辺、美山かやぶき由良里街道沿いの観光資源の維持
老朽化した桜の維持と新たな桜の植樹
大野ふれあい館施設整備の検討
Wi-Fi環境の整備など、各関連機関と調整しつつ検討
継続的に農産加工品の製造できる環境の整備を検討
調理室の営業許可の継続、食品衛生講習会など、各関連機関と連携して検討
- 3 文化活動・伝統文化継承への支援
地域の伝統文化・史跡の継承・保存活動への支援
檜原区：からす田楽 川谷区：きつねがえり
大野区：大野イルミネーション・仁清祭り
- 4 広報活動
インターネットを活用した効果的な広報活動を展開